

「放送番組」を活用して新しい授業を行いたい教員におすすめ

●大学の授業にもっと「放送番組」を活かそう！●

放送番組で読み解く社会的記憶

ジャーナリズム・リテラシー教育への活用



9784816923654

早稲田大学ジャーナリズム教育研究所、公益財団法人放送番組センター共編

A5・約390頁＋DVD 1枚 予価5,250円(本体5,000円) ISBN978-4-8169-2365-4 2012年6月刊行予定

放送番組を大学の教育現場で利活用する未来を拓くための端緒となる 1冊

■人々がある出来事や事件や社会現象を思い浮かべたときに何をもって思い出すか。

放送番組が切り取ったそれらの表象ではないか。

社会的記憶の出典を検証する教材として、大学の授業で放送番組を活用するための具体的方法と事例を示す。

■実際に授業案を提示することで分かる放送番組活用の利点、そしてアーカイビングの課題点を提起。

●早稲田大学ジャーナリズム教育研究所と放送番組センターの共同研究である「放送番組の森研究会」が、大学の授業で放送番組を資料として活用するための具体的方法を提示する実践的な報告集です。

●巻末資料として、各章本文に関連する放送番組の基本データ及び放送ライブラリー・NHKアーカイブスでの公開状況を掲載した「関連番組一覧」を収録しています。

●本書授業展開案を元に行われた公開授業(2011年11月18～20日)に放送番組センターにて開催)を収録(ダイジェスト)したDVD付き。

編者プロフィール

早稲田大学ジャーナリズム教育研究所 (J-Freedom)

早稲田大学総合研究機構に承認されたプロジェクト研究所のひとつで、「ジャーナリスト教育の研究開発とジャーナリズム研究の革新」をテーマとして、2007年4月に設立。ジャーナリスト養成教育の場として、全学の学部学生を対象にしている。所長は花田達朗。ホームページは<http://www.hanadataz.jp/00/front.htm>

公益財団法人 放送番組センター

わが国放送事業の健全な発達を図ることを目的として、1968年3月、NHKと全民放テレビ局が共同して設立した。放送番組を文化資産として収集・保存し、一般に公開する放送ライブラリー事業は1991年から実施。ホームページは<http://www.bpcj.or.jp/>

【目次】

はしがき(花田達朗)

総論(花田達朗)

第1章 ヒロシマ・ナガサキの樹(安藤裕子)

第2章 BC級戦犯の樹(藤田真文)

第3章 華僑・華人の樹(林怡蓁)

第4章 原子力の樹(烏谷昌幸)

第5章 「水俣」の樹(小林直毅)

第6章 失業の樹(伊藤守)

第7章 ベトナム戦争の樹(別府三奈子)

第8章 沖縄返還密約の樹(花田達朗)

第9章 犯罪の樹(大石泰彦)

第10章 アフガン・イラク戦争の樹(野中章弘)

資料編 関連番組一覧

あとがき(鈴木豊)

放送ライブラリーの紹介

*10の社会的テーマについて、『概説／関連年表／関連するテレビ番組の系譜論／授業展開案／参考図書・文献・資料一覧／公開授業の感想』を収録しています。

本書を強く推薦します！

TBS「報道特集」キャスター 金平茂紀

2010年まで2年間だけ米コロンビア大学に在籍してみて、大学を含む学校教育の中で、テレビやラジオの放送番組が、ごく当たり前国民の共有財産として授業で活用されているさまを見て、鮮烈な感動を禁じ得なかった。フェアユースという考え方がなぜ私たちの国では困難なのか。それを突き破る試みとして本書を強く推薦する。

■貴店名	注文書	放送番組で読み解く社会的記憶 ジャーナリズム・リテラシー教育への活用 予価5,250円(本体5,000円) ISBN978-4-8169-2365-4	冊
		■お名前	